

授業科目	言語学Ⅱ（文法・意味・社会言語学）				
担当者	松井 理直				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

日本語の文字・形態素・文法，意味の性質について詳細な解説を行います。

■ 到達目標

日本語の形態現象・文法・意味について習熟し，各種言語障害を分析・理解する基礎的能力の涵養を目指します。

■ 授業計画

- 第1回 日本語における各種文字の基本
- 第2回 漢字とかな文字の関係
- 第3回 形態素の導入
- 第4回 異形態と形態素の分類
- 第5回 形態素と語
- 第6回 合成語の性質
- 第7回 形態素と語種
- 第8回 連濁について
- 第9回 動詞後続形態素の性質
- 第10回 いわゆる「間違っただ」日本語の表現について
- 第11回 統語論の基礎
- 第12回 意味論の基礎
- 第13回 格助詞の機能
- 第14回 自動詞と他動詞の項構造
- 第15回 動詞後続形態素の意味

■ 評価方法

学期末のテストによって評価を行う。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

予習時間は 90 分程度。復習時間は個人の理解度によるが，1 時間程度。

■ 教科書

書 名：言語聴覚士のための基礎知識「音声学・言語学」第2版
 著者名：今泉敏（編）
 出版社：医学書院

■ 参考図書

授業中に指定します

■ 留意事項

質問などは大歓迎です。授業中に分からないことがあれば、必ずその場で質問をするようにしてください。新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。

■ 講義受講にあたって

対面授業の場合、事前に web 上で予習を行い、対面授業中は質疑応答を行うという形の反転授業を用いることがあります。